

# 作業手順書

作業名	コンクリート圧縮強度推定調査	作成日	2022年1月28日
作業工法等	リバウンドハンマーによる圧縮強度推定		
使用機器・道具	リバウンドハンマー、カーボランダムストーン、チョーク		
作業に必要な資格	無し		
職長名			
作業工程	作業の順序	手順・安全のポイント	
準備・移動	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 使用機種の確認</li> <li>2) 使用機器の動作確認</li> <li>2) 作業前ミーティング <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康状態の確認</li> <li>・保護具・服装の確認</li> <li>・資格者の確認</li> <li>・作業手順の確認</li> <li>・現地 KY の実施</li> </ul> </li> <li>3) 現地への移動</li> <li>4) 作業場所の周辺環境の確認</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調査対象コンクリートに適した機種を選定する (普通コンクリート用・軽量コンクリート用など)</li> <li>・前日に正常に作動するか確認する</li> <li>・テストアンビルにて精度を確認する</li> <li>・内部の記録用紙の状態を確認する</li> <li>・体調不良の有無の確認</li> <li>・適正な保護具の着用</li> <li>・資格証の確認</li> <li>・関係する作業員全員に周知し相互理解を深める</li> <li>・現地の状況に合わせた危険予知を行う</li> <li>・つまずき・転倒に注意する</li> <li>・第三者への接触に注意する</li> <li>・支障物の確認</li> <li>・競合作業の有無の確認</li> </ul>	
作業	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 調査位置の確認</li> <li>2) コンクリート表面の平滑化 および付着物の除去</li> <li>3) 測定箇所のマーキング</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象物の厚さ (10cm 以上) や端部からの位置 (5cm 以上) など JIS に適合した測定位置を選定する</li> <li>・仕上げの有無を確認する</li> <li>・仕上げがある場合、撤去する</li> <li>・コンクリート躯体面の状態を確認する (ひび割れ、豆板、浮きの有無など)</li> <li>・カーボランダムストーンを用いて、コンクリート表面の平滑化および付着物の除去を行う</li> <li>・研磨後、ウエス等で表面の粉末や付着物を除去する</li> <li>・チョークで 25mm～50mm の間隔で測定箇所をマーキングする</li> </ul>	

# 作業手順書

作業工程	作業の順序	手順・安全のポイント
作業	4) 測定  5) 圧縮強度の推定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンクリート面に対して垂直にリバウンドハンマーを打撃する</li> <li>・チョーク直上をさけて、マーキングから少しずらした位置でリバウンドハンマーを打撃する</li> <li>・打撃の際は両手で支持し、反動をつけずゆっくり押し付けるように行う</li> <li>・異常値(偏差が平均値の20%以上)がないか確認する</li> <li>・異常値があった場合、異常値を棄却し、再度測定を行う</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・推定式から圧縮強度推定値を求める</li> </ul>
片付け・移動	1) 片付け  2) 移動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・残置物がないか確認する</li> <li>・マーキングしたチョークを拭き取る</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・つまずき・転倒に注意する</li> <li>・第三者への接触に注意する</li> </ul>

## 作業状況図



テストアンビルによる精度確認



測定状況

## 作業状況例



シュミットテストハンマーNR型



ディジ・シュミット



シュミット Live

## 使用機器例